



いいで 学校便り 第19号

喜多方市立山都小学校

平成28年3月22日(火)
文責 校長 菊地 誠

在校生に伝えたい卒業生の思い

「ぼく、わたしの残したい山都小のよい伝統」

早いもので、いよいよ明日が卒業証書授与式となりました。在校生がたくさんお世話になった、がんばっている姿を見せてくれた6年生が卒業します。先日、その6年生に「ぼく、わたしの残したい山都小のよい伝統だなと思うこと」を書いてもらいました。その結果、一番多かったのが「花いっぱい学校を続けて欲しい」ということでした。「花いっぱい運動」は旧山都一、二、三小時代から引き継がれている伝統です。今年の6年生は山都小学校が開校した年に入学した1期生です。そして1年生から続けてきた花壇作りや緑の少年団活動での体験が、新生山都小学校の新しい伝統として引き継がれてきたのです。在校生は6年生の「思い」をしっかりと受けとめて欲しいと思います。そしてこれからの山都小学校の伝統として続いていきます。6年生の皆さんありがとうございました。山都小学校で学んだことを大事にして中学校でさらに大きく成長してください。



あいさつ通りの花壇

6年間無欠席 すばらしいです。



卒業する6年生に、6年間無欠席児童(出席停止の日は除く)がいます。それは、K. Sさんです。6年間1日も休まないで登校できたのは、自分の健康管理をしっかりするなど普段の努力の結果です。本人に「1日も休まずに登校できたのはどうしてか?」聞いてみました。すると「学校には楽しいことがたくさんあるから。休むのはもったいない」という答えが返ってきました。とても、参考になる言葉ですね。記念に校長手作りの皆勤賞の賞状をあげました。

新年度に向けて

平成27年度も明日で終わり、4月からは平成28年度がスタートします。今年度も、子どもたちの「学力や体力の向上」「豊かな心の育成」に向けて、教職員が一丸となって、教育活動を進めてきました。学習面では「山都町つなぐ教育連携推進プラン」にもとづいた小中共同実践として、学習ルール10か条や聞き方・話し方ルールの徹底、家庭学習の推進を進めてきました。2月に全学年で実施した学力テストでは、その成果が徐々に表れてきています。しかし、思考力や表現力、応用力といった点では、まだ課題が残ります。体力面では、肥満傾向が全国平均を上回っており、さらなる体力の向上が求められます。「確かな学力を身につけること」「体力の向上を図ること」、さらに「思いやりのある豊かな心を育てること」、これらの点については、28年度も重点課題として取り組んでいきたいと思えます。

最後になりますが、一年間、本校の教育活動にご支援ご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。